

2022年4月3日

“新しい葡萄酒” (New Wine)

前奏

鈴木義兄

賛美歌 90番

ここもかみのみくになれば あめつち御歌をうたいかわし
岩に樹々に空に海に たえなる御業ぞ あらわれたる

ここもかみのみくになれば 鳥の音花の香主をばたたえ
あさ日ゆう日はえにはえて そよ吹く風さえかみをかたる

ここもかみのみくになれば よこしましばしは時をうとも
主のみむねのややになりて あめつちついにひとつとならん

聖書拝読 ヨハネによる福音書22章1—6節

説教 “十二弟子のひとり”

Scroggins 由紀牧師

後奏

鈴木義兄

“あたらしい葡萄酒は、あたらしい革袋に入れるべきである。” (ルカによる福音書5章38節)

日本人はよくお酒を飲むといわれていますが、葡萄酒、ワインというのは比較的新しく、海外から入ってきた飲み物なので、日本酒などに比べて、飲む人たちはいても文化的にはあまりなじみがないかもしれません。聖書は中東でかかれた書物なので、ワイン文化と縁が深いですが、主イエスがいわれた、たとえのなかでよくわかりにくいのは、葡萄酒のたとえではないでしょうか。ルカによる福音書5章で書かれている、葡萄酒のたとえは、この飲み物に精通した文化が土台となっています。主イエスは、新しい葡萄酒は、新しい革袋に入れるべきである、といわれました。主イエスに向かって弟子たちが、断食をしないで食べたり飲んだりしてのを見て、パリサイ人たちは疑問を持ちました。それにこたえて、主イエスは、新しい葡萄酒を古い革袋に入れると、新しい葡萄酒は、古い革袋をさいて、どちらとも無駄になる、新しい葡萄酒は、新しい革袋に入れるべきである、といわれました。

主イエスは律法と恵みについて、こういわれたのですが、律法、古い革袋を否定しているのではなく、新しい葡萄酒には、それに見合った革袋、恵みが必要だという意味です。新しい葡萄酒とは、その恵みを必要としている人たちです。主イエスは律法の外にいる人たちに、それを押し付けられることはしませんでした。この箇所は、教会の在り方についても非常に大きな教えを与えていると思います。どうか、私たちも主イエスにある恵みを理解することができます様にお祈りします。(Yuki Scroggins)

消息

—教会の内外で主の癒しを必要とされている方々のために、また、世界におけるパンデミックが一日も早く終息に導かれるように、またウクライナに平和がもたらされるように祈りましょう。

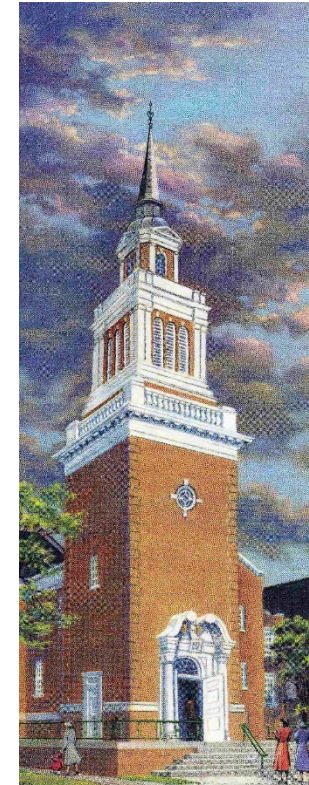
お知らせ

—3月27日の日曜日は、午後12時45分から Congregational Meeting があり、Wilbur Warner Grant Committee の代表として推薦された Elsa Chavez 姉が可決されました。

—ウクライナの危機に関して、International Ministries では支援を行っております。興味のある方は下記のリンクを通して寄付をしてください。支援金は、ウクライナのパプテスト教会へ送られます。

<https://www.internationalministries.org>

—アメリカでは、パンデミック以来、アジア系住民への差別偏見が問題になっていますが、アジア系であるということで、嫌がらせなどの被害を受けた方は、Stop AAPI Hate のサイトで被害を報告することができます。また、政治的な活動については、AAAJ (Asian American Advancing Justice) などのサイトをチェックされることをお勧めいたします。



週報

第3866号

2022年4月3日

発行: 2022年3月30日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org